

文教施設における多様な PPP/PFI の先導的開発事業  
米山地区公共施設複合化事業（令和2年度）

1. 事業概要に関すること

(1) 本事業の概要

小学校再編に加え、米山町の中心部にある市役所総合支所や公民館、体育館も市町村合併により余剰スペースの発生や築 35 年以上が経過していることから、PPP/PFI 事業を活用した持続可能な多世代交流拠点づくりに向けて検討を行うこととした。

(2) 本施設の概要

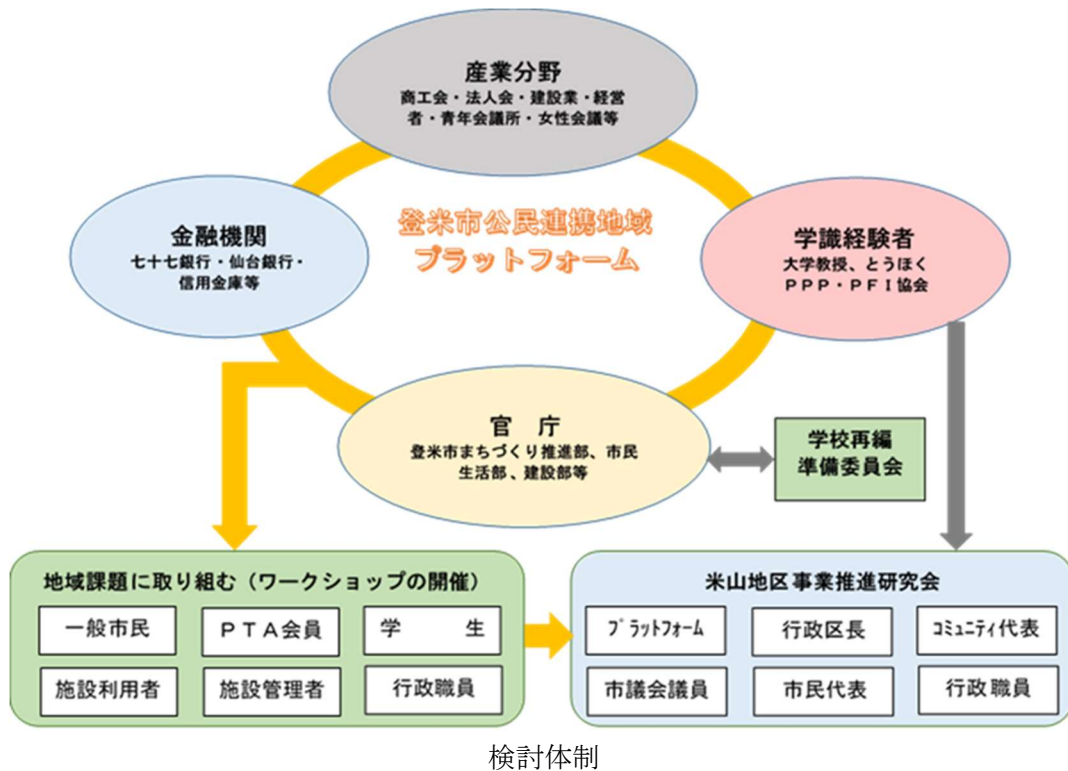
対象施設

	施設名	管理体系	構造	建築年	経過年 (年)	延床面積	年間利用者 (人)
1	米山総合支所	直営	RC 造 3 階	1974	46	3,923.70	12,185
2	米山公民館 (米山農村環境改善センター)	指定 管理	RC 造 2 階	1978	42	1,505.85	15,517
3	米山体育館		RC 造 2 階	1982	38	1,529.57	4,243
4	米山児童館	直営	RC 造一部 木造 1 階	1979	41	552.52	8,572
5	米岡小学校		RC 造 3 階	1979	41	3,743.00	127
6	中津山小学校		RC 造 3 階	1979	41	4,566.00	179
7	米山東小学校		RC 造 3 階	1976	44	3,675.63	174
合計					平均 41.9	19,496.27	40,997



2. まちづくりを実現させるための検討体制に関すること

米山地区の公共施設の複合化にあたり、登米市公民連携地域プラットフォームを中心とし、ワークショップの開催、米山地区事業推進協議会を設置し、学識経験者からの専門的な助言等を頂きながら検討することとした。



### 3. 再委託の内容に関すること

「登米市公民連携地域プラットフォーム」の協力を得ながら、地域と住民との対話を通じた事業スキームの検討や資金など支援措置の調査、現行制度における課題の検討、リスク分担と VFM の試算、市場調査、導入に向けた課題の整理などに関する調査を行った。

### 4. まとめ

#### (1) 事業方式について

本地区は、令和3年度より過疎地域指定となるため、有利な財源確保が可能となることから、財政負担の軽減を図るという面では、PFI 手法と比較して DBO 方式が優位であると考えられる。

#### (2) DBO 方式における簡易 VFM の試算結果

		従来型手法	採用手法	VFM
※現在価値のVFM	金額	3,424,040	3,124,078	299,962
	%			8.8%

#### (3) 本事業を通じて得られた課題認識

- 少子高齢化・人口減少が進む中で、単なる集約化・複合化にとどまらず、教育・人材育成などソフト面に重点をおいた計画を望む。
- 複数の運営主体が関わることで想定されることから集約化・複合化によるメリットが最大限発揮できる柔軟な運営のあり方を検討することが必要と考える。
- 道の駅や民間収益施設との連携により教育と稼げる施設の社会的実践の場がリンクするような視点からの計画を期待したい。

#### (4) 課題に対する今後の対応方針

本事業の具体化にあたっては、本事業の検討結果を踏まえ、米山地区事業推進研究会へ内容を報告し、民間事業者の意見を取り入れながら事業化に向け基本計画の策定、公募条件の整備を進め、市の中心拠点整備との連携を行いながら、地域拠点整備のモデルとなるよう政策決定が必要である。